カメラ散歩

まちのホットな話題

秘書広報課広報広聴係
☎33−1111（内線224）

カメラ散歩では、皆さんの「ホットで楽しい」話題を掲載しています。皆さんからの情報もお待ちしています。

五百川小と白沢中の皆さんが参加

上尾市民駅伝競走大会

2月10日に、上尾運動公園陸上競技場を会場に開催された上尾市民駅伝競走大会に、本宮市の五百川小学校から14人、白沢中学校から6人の児童・生徒が参加し、上尾市の皆さんとともに健脚を競いました。

これは、東日本大震災以降、継続して支援していただいている埼玉県上尾市の配慮により、昨年10月に開催された「もとみや駅伝競走大会」で小学生の部と中学生駅伝の部でそれぞれ優勝した五百川小学校と白沢中学校が招待されたものです。

▲白沢中学校のタスキリレー

エッセーで大賞を受賞

中高生全国エッセーコンテスト

衣料繊維会社ニッケ（大阪市）主催の中高生の全国エッセーコンテスト「ニッケピュアハートエッセー大賞」で安達東高校3年の大内健吾さん（和田）が大賞に輝きました。

東日本大震災での福島の原発事故をテーマに「福島から放射能を取り除き、皆の笑顔を取り戻したい」とふるさと復興の強い思いをつづりました。

大内さんは「うれしさと驚きでいっぱいでした。将来は放射線について勉強して、放射線総合研究所で働きたいと思っています」と受賞の喜びと今後の目標を話していました。

▲約2万6千点の作品の中から大賞に選ばれた大内健吾さん

おかえりなさい　清水さん

海外青年協力隊の活動を報告

国際協力機構の青年海外派遣協力隊で、インド洋にあるモルディブ共和国に平成23年1月から2年間派遣された清水聡子さん（高木）は、2月4日、活動報告のため市役所を訪れました。

シーヌ環礁フルミードゥ島シャムスディーンスクールで、小学校の音楽の先生として現地で活動された清水さんは、現地の子どもたちに音楽の授業とバンドを指導したことや、現地の人から温かく迎えられたことなどを高松市長に報告しました。

▲高松市長にモルディブでの活動を報告する清水さん（右）

何回飛べるかな

市民なわとび大会

1月27日に高木の総合体育館で、第4回本宮市民なわとび選手権大会が開催されました。

大会には、小学生から一般の方まで約200人がエントリーし規定時間内に何回飛べるかを競い合いました。団体の部には11チームが出場、連続で飛べた回数を競いました。

大会では日本体育大学ダブルダッチサークルの皆さんが、縄の調整や選手の誘導など大会運営に協力いただきました。また、2本の縄を使って飛ぶダブルダッチのパフォーマンス披露やなわとび教室も開催されました。

▲日体大ダブルダッチサークルの皆さんによる、なわとび教室も開催されました

▶小学校低学年は1分間、高学年は3分間、中学生以上一般の方は5分間何回飛べるかを競い合いました

本宮高校書道部

書の甲子園で3人が入選

本宮高校書道部の渡辺真季さん（3年）、鈴木茅蓮さん（3年）、藤田知邑さん（2年）が、第21回国際高校生選抜書展で入選しました。

国際高校生選抜書展は「書の甲子園」として知られ、世界中の高校生たちが書の腕前を競うものです。今回は日本と海外の17の国・地域から過去最多の約1万7千点の応募があり、このうち約2,200点が入賞、入選に選ばれました。

皆さんの今後のご活躍を期待します。

▲書の甲子園で入選した（左から）藤田知邑さん、渡辺真季さん、鈴木茅蓮さん。藤田さんは隷書「史晨後碑」、渡辺さんは楷書「道因法師碑」、鈴木さんは隷書「曹全碑」を出品しました

人形劇！　たのしいね

子育て支援事業いっしょにあそぼう

2月2日、えぼかで、郡山女子大学短期大学部幼児教育学科の学生の皆さんが、子育て支援事業「いっしょにあそぼう」で人形劇、エプロンシアター、幼児体操、歌あそびなどで子どもたちとふれあいました。

「いっしょにあそぼう」は、昨年10月から開催しているもので、今回が4回目の開催となりました。会場にはたくさんの親子連れが訪れ、学生の皆さんと楽しい時間を過ごしていました。

▲人形劇「こびとのくつや」上演のようす

◀人形劇に見入る子どもたち